

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヒトウェル西川口教室		
○保護者評価実施期間	2025年1月		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数		30人 (回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	2025年1月		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士、保育士、教員免許所持者、指導指導員、強度行動障害資格保有者が在籍しており専門性の高い支援を提供できるような多角的なアセスメントのもとプログラムを考案し支援、対応している。	定期的なケースカンファレンスに加えて児童の評価やアセスメント、児童の困りごとから全体での楽しめるようなプログラムの考案をしている。	3か月に1回の児童のケースカンファレンスに加えて、保育園や小学校の連携、支援内容や近況の報告や共有を適宜することでワンチームとしての支援を心掛け取り組んでいる。
2	プログラム内容の充実、プログラムに内容1つ1つに対してねらいを定め提供している。毎回、支援が終わってから評価し来月の支援内容を考案しており同じ支援内容が重ならないように対応している。同じ支援を継続しているときは継続した場合の評価も行いご家族にフィードバックしている。	活動の前の導入や屋外活動、クッキングについても視覚的支援を行い一連の流れやねらい、手順を手順表や物語を用いた絵本の読み聞かせからスタートしており全児童に対してわかりやすく見通しの持てる支援を心掛けている。見通しが持てることで不安要素が軽し活動にとり楽しく取り組めるよう支援している。	児童や保護者様から活動の希望を聴取しながらプログラムに取り入れる事やプログラム参加でのポイント制度を導入することで児童一人ひとりが目標をもって来所できるよう支援している。
3	支援で役立つ情報や絵カードを保護者様や保育園、小学校にて共有し提供している。また、書籍や就学相談に伴う相談についても適宜面談やオンラインにて対応し連携している。SNSで動画や適宜投稿しており支援のミエルカや社会的存在価値を高めており他事業所との差別化を図っている。	児童が全員揃う前の時間にて個別学習を設け小集団のなかでも個別の支援を必要時行っている。定期的なほけん日よりや全体によりて全体の支援が見えない保護者様に対しても支援がイメージつきやすく児童との関わりや成長がより肯定的に見えるよう心掛けている。	モニタリングカメラを設置していることでモニタリング以外のご家族の不安や支援の業況の際も面談しながらより自然な児童の支援の様子を別室にて見学することができている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加のイベントや地域での活動の参加ができておらず横のつながりや保護者同時の支援の輪の提供が不足している。	保護者様の国籍、プライバシーや共働き世代の多さを考慮し考案しておかなかったが保護者様全体へ希望をとり考案していく方向。	全体のアナウンスや人数の把握、イベントをするにあたっての時間や人員の対応。
2	多機能での支援事業所の為全体での屋外活動ができていない。安全面や人員確保を考慮してもまだ具体的な行事を行えていない。	異年齢3歳～中学校2年生までの年齢層が全体で楽しめる課外活動が見いだせていない。職員で話し合いながら親子参加での屋外活動を検討している。	避難訓練にて全体で屋外での避難は行っていたため、公園に行くなどを企画できるかを検討している。
3	保育所等訪問支援の要望があるが保育園の訪問が実現できていない。	職員の人員不足や事業所のさらなる対応での配置に人員の移動や勤務形態の変化があり踏み込めていない。	職員の人員不足や事業所のさらなる対応での配置に人員の移動や勤務形態の変化があり踏み込めていない。